《 令和７年度 新卒看護職員の早期離職等実態調査 》

●該当する項目に〇をつけ、□や(　　)内には文字をご記入ください。

●特に期日・期間のない質問については、**令和７年６月１日現在**の状況をご回答ください。

貴学名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご記入者:役職＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問１　卒業生の早期離職状況(入職後1年以内の離職)を把握していますか。

1. 把握している　　2. ある程度把握している　　3. 把握していない

問２　入職後早期離職者や離職したいと悩んでいる者からの相談状況について、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. 就職課・学生部などの特定の部署が対応
2. 学部・学科の進路担当教員が対応
3. 卒業時の学年担当・クラス担任教員が対応
4. 当事者と親しかった教員が個別対応
5. その他の方法で対応(具体的内容:　　)
6. 相談指導は行っていない

問３　新卒看護職員の職場定着を困難にしている要因として、どのような事柄があるとお考えでしょうか。
ご記入者のお考えをお聞かせください。　※あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. コロナ禍での臨地実習不足による影響（看護技術やコミュニケーションに対する自信のなさや強い不安・緊張など）
2. 看護職員に従来より高い能力が求められるようになってきている
3. 看護基礎教育終了時点の能力と看護現場で求められる能力とのギャップが大きい
4. 現場の看護職員が新卒看護職員に仕事の中で教える時間が無くなってきている
5. 指導者の育成が不十分
6. 指導者との不調和、熱意の差異
7. 新卒看護職員を計画的に育成する体制が整っていない
8. 看護業務が整理されていないため、新人が混乱する
9. 交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい
10. 個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない職場風土
11. 新卒看護職員が「自分が医療事故を起こすのではないか」という不安が強く、委縮している
12. 現代の若者の精神的な未熟さや弱さ
13. 新卒看護職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況がある
14. 希望する病院や部署と本人の能力・適性のギャップが大きい
15. 社会人基礎力が育たない
16. その他（　　）

問４　臨床現場との交流や実習指導者との連携について、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. 臨地実習前や実習後に、学生のレディネスや個々の課題等について実習指導者と意見交換を行っている
2. 学生のケーススタディ発表会や卒業論文発表会等に、実習指導者を招待している
3. 学内演習の際に、実習指導者に模擬患者や演習支援・助言者としての参加を依頼している
4. 病院等の実習指導に係る委員会(実習指導委員会等)に参加している
5. 学内行事として、学生と実習指導者等の看護職との交流の場(看護の魅力ややりがいを語る場等)を設けている
6. その他（　　）
7. 臨地実習中の対応のみで、交流はない

裏面へ

問５　令和６年度卒業生（令和７年３月卒業生）の状況についてお尋ねします。

1）臨地での実習不足を補うために、卒業までに追加教育（講義や演習）を実施しましたか。
実施したものすべてに〇をつけてください。

1. 注射など医行為の実技演習
2. 療養上の世話の看護技術の実技演習
3. 夜間帯の看護や複数患者受け持ちなど、統合分野（看護の統合と実践）のシミュレーションや演習
4. 薬に関する知識教育
5. 医療安全に関する講義・演習
6. 感染予防に関する講義・演習
7. コミュニケーション技術に関する講義・演習
8. その他（　　）
9. 実施しなかった

2）上記追加教育の参加について、あてはまるものに〇をつけてください。

1. 卒業生全員が参加する教育を実施した
2. 実習状況に応じて個別に追加教育を実施した
3. 希望者が参加する教育を実施した
4. 実施しなかった

問６　卒業生を対象とした研修や交流会、情報提供等を実施していましたら、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. リフレッシュや精神的な支援を目的とする研修・交流会
2. 社会人としてのマナー等の研修
3. 看護職としてのキャリア形成に関する情報提供
4. 給与や税金、社会保険等の仕組みについて情報提供
5. 学生同士の交わりを目的とした交流会
6. その他（　　）
7. 行っていないが、今後予定している
8. 行っておらず、今後も予定なし

問７　新卒採用者の離職率は高い状況が続いています。
離職防止のための方策や卒業学校としての支援、就職先への要望等がございましたらご記入ください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。